

Nakabayashi

# ナカバヤシ・シュレツダ N-112E

## 取扱説明書

ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

この『取扱説明書』を汚したり、紛失された場合は、機種名をご確認の上、販売店か当社営業担当者までご請求ください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。



1.安全上の注意事項	1
2.機械の設置	4
3.各部の名称と働き	5
4.操作方法	8
操作の前に	8
操作方法	8
省エネモードについて	9
操作上の注意	9
5.紙詰まり・細断屑の処理方法	10
紙詰まり時の処置	10
細断屑の処理方法	10
6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)	11
7.機械のお手入れ	12
カッターのお手入れ	12
シュレツダ本体のお手入れ	12
満杯センサーの掃除	13
8.主な仕様	14

## ■ N-112Eの特長

- プライバシーを守るクロスカットタイプを採用
- 液晶表示で状況を見やすくお知らせ
- 過投入防止機構  
最大細断枚数以上の過投入を規制することで、効率の良い細断ができます。
- 移動に便利なキャスター付き

## ◆ 主な機能

### オートスタート&ストップ

- 紙を入れると自動で細断を始め、細断を終えると停止する便利なオートスタート/ストップ機能。

### オートリバース

- 能力以上の紙を入れると、自動で逆転しカッターやモーターへの悪影響を防止します。

### 満杯検知

- 細断屑が満杯になると、液晶表示でお知らせする親切な機能。

### 待機電力0W

- 一定時間使用しないと、制御部電源を切り、待機時の消費電力を0Wにします。(0Wは、ノイズフィルターなどの漏れ電流を除いた値です)

## ◆ 安全装置

### オートカット

- 過熱防止機能付き。モーターの温度が一定以上になると検知し、自動停止します。




### ドアスイッチ

- 運転中にドアを開けると、動作を自動的に止める安全スイッチ。

# 1.安全上の注意事項



ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

この「取扱説明書」では、以下のマークで注意事項を示します。

表示内容	マーク
禁止事項を示します。 禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、けがを負う危険があります。 禁止の内容をⓧの中に絵文字で示します。	
要請事項を示します。 要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。 要請の内容を●の中に白抜き絵文字で示します。	
注意事項全般を示します。 取り扱いの誤りによって、危険や損害が発生する可能性があります。発生する危険や、損害の程度によってマークの横に「警告」、「注意」と表示します。 <b>警告:</b> 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。 <b>注意:</b> 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が、想定される場合。	

!! このマークは機械を使用する際の保守上の注意を示します。

☆ このマークは機械を使用する際の補足や参考を示します。

警告	
<b>●子供使用禁止</b> ・子供(特に幼児)をシュレツダに近づけてはいけません。内部にはカッターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。本シュレツダを操作できるのは、大人だけです。	
<b>●手、衣類、髪の毛の巻き込み注意</b> ・投入口および排出口には、絶対に指を入れてはいけません。手を切るおそれがあります。 ・服、ネクタイ、ネックレス、頭髮等を巻き込まれると、けがをするおそれがあります。	 
<b>●可燃スプレー厳禁</b> ・可燃性ガス、可燃性溶剤等を含むスプレーを使用してはいけません。引火、爆発のおそれがあります。	
<b>●電池投入禁止</b> ・小形二次電池、ボタン電池等を投入口から入れてはいけません。発熱、発火、破裂するおそれがあります。	
<b>●のぞき込み禁止</b> ・まれに投入口より細断片が飛び出してくることがあります。細断中は投入口をのぞき込んだり、手を近づけたりしてはいけません。けがをするおそれがあります。	

## ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

### 警告

#### ● 分解、改造、修理の禁止

- ・この機械を、分解してはいけません。けがの原因となるおそれがあります。
- ・この機械を、改造してはいけません。火災や感電、けがのおそれがあります。また、お客様による修理は、危険な場合がありますから絶対してはいけません。
- ・この機械のカバー、キャビネットを外してはいけません。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



#### ● 紙以外の細断禁止

- ・CD/DVD/FD(プラスチック、ガラス、金属返答を含む)を入れてはいけません。細断片でけがをするおそれがあります。また、故障の原因になります。



#### ● 最大細断枚数以下での使用

- ・最大細断枚数以下の枚数でお使いください。  
最大細断枚数：約18枚(50/60Hz)  
(A4上質紙64g/m<sup>2</sup>)



#### ● アース線の接続

- ・アースに接続してください。アースに接続しないで漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アースに接続できない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社にご相談ください。



### 警告

#### ● 万一、異常が発生したら

- ・万一、発熱している、煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生した場合は、火災や感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

- ・万一、異物(金属片、水、液体)が機械の内部に入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



- ・この機械を落としたり、カバーを破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

- ・運転中に異常な音や振動がある場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままでは使用できません。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

# ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

## ⚠ 警告

### ● 指定電源以外は使用禁止

・表示された電源電圧以外の電圧で使用してはいけません。また、俗に言う“タコ足配線”をしてはいけません。火災、感電のおそれがあります。



### ● 電源プラグ、コードの取り扱い

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししてはいけません。感電の原因になることがあります。



・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしてはいけません。また、重たいものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードが傷つき、火災や感電のおそれがあります。



・電源コードおよび電源プラグは、奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと火災や故障の原因になることがあります。



・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張ってはいけません。電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



● 電源コードに触ると、通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



## ⚠ 警告

● この機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電のおそれがあります。



● この機械の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしてはいけません。火災や感電のおそれがあります。



● 湿気やほこりの多い場所に置いてはいけません。火災や感電のおそれがあります。



● 必ずコンセントの近くでこの機械を使用してください。電源プラグが簡単に着脱できるように、コンセントのそばに物を置かないでください。



● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置いてはいけません。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



● 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があるような場所には置いてはいけません。火災や感電の原因になることがあります。



● この機械の天パネルの上へ、飲料水等をこぼしてはいけません。火災や感電のおそれがあります。

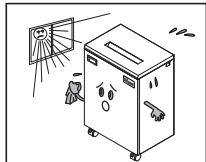


# 2.機械の設置

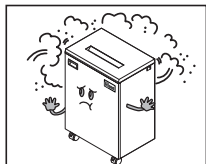
次の様な場所への設置は避けてください。

☆設置時の注意事項:アース線は必ず接地してください。

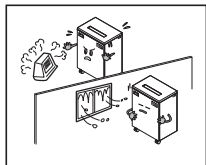
・直射日光のあたる場所



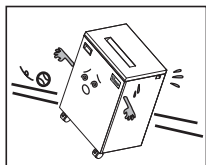
・ほこりや振動の多いところ



・極端に温度や湿度が高いまたは低い所



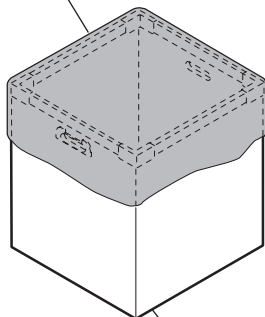
・水平でなかったり、不安定な場所



③投入口  
(過投入防止機構)

②オートスタート  
センサー(内部)

⑩チップ袋



⑨ダストボックス

⑧キャスター

④扉

⑪操作パネル

①電源スイッチ

⑤電源コード  
(電源プラグ)

本体後部

⑦アース線  
取付穴

⑥アース線

図1 外観図



●N-112Eは、紙細断用シュレツダです。紙以外の物は、細断しないでください。

# 3.各部の名称と働き

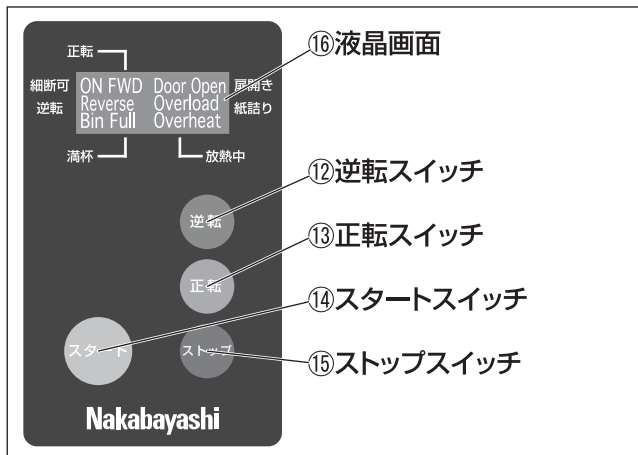


図2 操作パネル拡大図

## ①電源スイッチ

…スイッチの奥側を押すと電源が入ります。逆に手前側を押すと電源が切れます。 **図3 参照**

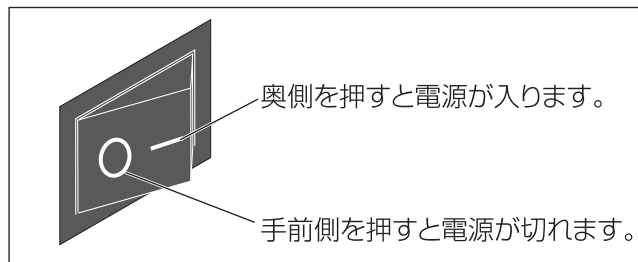


図3 電源スイッチ拡大図

## ②オートスタートセンサー

…液晶画面⑩に[細断可(a)]が表示されているときに紙を投入すると、このセンサが検知して自動で細断を開始します。投入した紙が無くなると、自動で停止します。

**P4 図1 参照**

☆細断する紙は、投入口③の中央に合わせて、まっすぐに投入してください。

## ③投入口

…細断する紙をここから投入します。

## ④扉

…ダストボックス⑨の出し入れをするときに開きます。

## ⑤電源コード

…電源プラグはAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

## ⑥アース線


…アース線取付穴⑦と、電源コンセントのアース端子または、接地工事がしてある端子に接続してください。

**P6 図4 参照**

**⚠ 警告**

●アースを接続してください。アースが接続されないで漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。

なお、アースが接続できない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社にご相談ください。



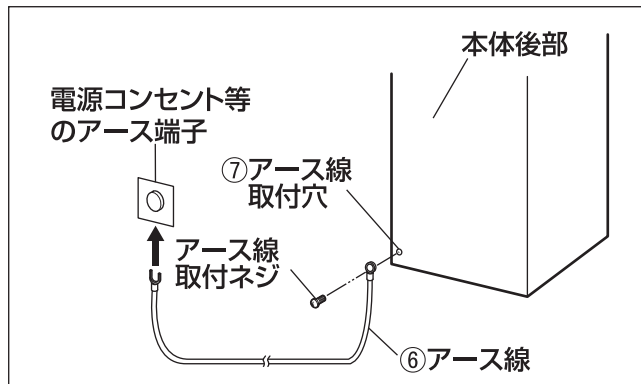


図4 アース線の取り付け



●接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

#### ⑦アース線取付穴

…この穴にアース線⑥を取り付けてください。 図4 参照

#### ⑧キャスター

…シュレツダの底面に4個取り付けてあり、前部の2個はロック付です。シュレツダを移動するときには、キャスターのレバーを上げてロックを解除してください。シュレツダを使用する場合は、レバーを下げてキャスターをロックしてください。 図5 参照



●キャスターの破損を防ぐために、凹凸や段差のある場所での移動はさけてください。

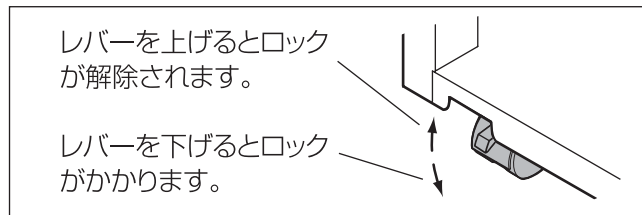


図5 キャスター拡大図

#### ⑨ダストボックス

…シュレツダ内部に入れて、細断屑を受け止めます。

#### ⑩チップ袋

…細断屑の飛び散りが無く処理できます。

#### ⑪操作パネル

…シュレツダを操作するスイッチ類があります。

#### ⑫逆転スイッチ

…押ししている間、カッターが逆回転します。

#### ⑬正転スイッチ

…押ししている間、カッターが正回転します。

#### ⑭スタートスイッチ

…押しすとカッターが約2秒間正回転し、停止します。

液晶画面⑯に[細断可(a)]が表示され、細断可能な状態になります。

#### ⑮ストップスイッチ

…押しすとシュレツダが停止します。全ての機能が停止し、待機状態になります。

#### ⑯液晶画面

…シュレツダの動作状態を液晶表示します。



### 細断可(a)

ON

#### 自動運転待機中

細断する紙を投入口③から投入すると自動で細断を開始し、細断が終わると停止します。

### 細断可・正転(b)

ON FWD

#### 自動運転中

投入口③から投入された紙を細断しています。細断が終わると自動で停止します。

### 正転(c)

FWD

カッターが正回転中、または正転スイッチ⑬を押してカッターが正回転しています。

### 逆転(d)

Reverse

カッターが逆回転中、または逆転スイッチ⑭を押してカッターが逆回転しています。

### 扉開き(e)

Door Open

扉④が開いています。  
扉④を閉めてください。

### 紙詰り(f)

Overload

投入した紙が多すぎたり、斜めに投入した紙が詰まって停止しています。オートリバース機能が作動し、詰まった紙を排出します。

※最大細断枚数：約18枚(50/60Hz)  
(A4上質紙64g/m<sup>2</sup>)

### 放熱中(g)

Overheat

長時間連続してモーターが過熱状態になり、モータ保護機能が働いています。モータの温度が下がるまで60分程度放置してください。  
(連続使用時間の目安は30分(50Hz/60Hz)です)

### 満杯(h)

Bin Full

ダストボックス⑨が細断屑でいっぱいです。ダストボックス⑨を取り出し、細断屑を捨ててください。



- 細断屑を処理するときは、細断屑がこぼれないように、ダストボックス⑨を軽く前後左右にゆすってから、ゆっくりと引き出してください。

# 4.操作方法

## 操作の前に

1. キャスター⑧のレバーを下げ、ロックしてください。  
P6 図5 参照
2. ダストボックス⑨にチップ袋⑩をセットし、奥に当たるまで押し入れてください。  
P4 図1 参照



●チップ袋⑩は、ダストボックス⑨の内側に密着するようにセットしてください。密着が不十分な場合、満杯検知機構の誤作動や細断屑が飛散する原因になることがあります。

3. アース線⑥をシュレツダ本体のアース線取付穴⑦とアース端子に接続してください。  
P6 図4 参照
4. 電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

## 操作方法

1. 電源スイッチ①の奥側を押してください。
2. 操作パネル⑪のスタートスイッチ⑭を押してください。カッターが約2秒間正回転した後、停止します。この後、液晶表示が[細断可(a)]の状態になり、自動運転の待機状態になります。  
P7 参照

## ●オートスタートの場合

3. 細断する紙を投入口③の中央にまっすぐ投入してください。オートスタートセンサー②が紙を検知して、自動で細断を開始します。

☆名刺やはがきなど幅が狭い用紙は、センサー部を通過しないとオートスタートが動きません。また、透明に近い紙は検知されないことがあります。その場合は、マニュアルスタートで細断してください。

4. 細断が終わると、自動で停止します。

## ●マニュアルスタートの場合

3. 操作パネル⑪の正転スイッチ⑬を押し続けながら、細断する紙を投入口③に投入してください。
4. 細断音が消えてから約5秒間、そのまま正転スイッチ⑬を押し続けてください。
5. 正転スイッチ⑬を放してください。カッターが停止します。



●長時間使用しない場合は、安全のため、電源スイッチ①の手前側を押して電源を切ってください。

## 省エネモードについて

### ●待機電力ゼロ機能

…何も操作をせずに一定時間(約5分)経過すると自動的に液晶表示が消え、待機状態になり、消費電力が0Wになります。

…再度、スタートスイッチ⑭を押すと、カッターが約2秒間正回転し停止します。

液晶表示が[細断可(a)]になり、細断ができる状態になります。 P7 参照

☆ストップスイッチ⑮を押すと、すぐに待機状態になります。

## 操作上の注意



- 連続して使用する場合には、  
定格細断枚数：約10枚(50/60Hz)以下で細断してください。(A4上質紙64g/m<sup>2</sup>)  
カッターに負担がかからず円滑に細断ができます。  
細断枚数は、紙質、湿度、電圧等によって変わります。



- [放熱中(g)]が表示されカッターが停止した場合は、過負荷などによりモーターが過熱状態になっています。モーターの温度が下がるまで、60分程度放置してください。 P7 参照



- 細断枚数は18枚(50/60Hz)以下でお使いください。(A4上質紙64g/m<sup>2</sup>)  
能力以上の紙を投入すると、機械に過負荷がかかり、故障の原因になります。



- 連続使用時間は30分(50Hz/60Hz)以下を目安にお使いください。

## ⚠ 注意

- たびたび[放熱中(g)]が表示される場合は、電源スイッチ①の手前側を押して電源を切り、電源コード⑤のプラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



- 投入口から次のような物を投入してはいけません。故障の原因になります。



・濡れたり、湿ったりしている紙



・ビニール袋などの樹脂製品



・衣類などの布



・OHPフィルムやカーボン紙



・粘着シールや粘着シールを貼っている紙



・クリップや、安全ピンなどの金属



・折り曲げて定格細断枚数以上になった紙



・水などの液体

# 5.紙詰まり・細断屑の処理方法

## 紙詰まり時の処置

- 能力以上の紙を投入すると、[紙詰り(f)]が表示され、カッターが一定時間逆転して停止します。 **P7 参照**  
以下の手順に従って、紙詰まりを処理してください。
- 1.投入口③に残った紙を取り出してください。[紙詰り(f)]が消え、一定時間正転後、[細断可(a)]が表示されます。
- 2.紙が詰まって取り出せないときは、逆転スイッチ⑫を押し続けてカッターを逆転させ、戻ってきた紙を取り除いてください。[紙詰り(f)]が消え、[細断可(a)]が表示されます。
- 3.戻ってきた紙が取り出せないときは、正転スイッチ⑬を押し続けて細断してください。細断が終わると、[細断可(a)]が表示されます。
- 4.紙の量を減らして、再投入してください。

## 警告

- 細断途中または細断直後に扉を開けた場合、シュレツダのカッターは惰性によりすぐには停止できません。電気回路の故障によりカッターが回転する場合がありますので、カッター内部には絶対に手を入れてはいけません。



## 細断屑の処理方法

- ダストボックス⑨が細断屑で満杯になると、[満杯(h)]が表示されます。 **P7 参照**  
以下の手順に従って、細断屑を処理してください。
- 1.扉④を開けてダストボックス⑨を引き出し、細断屑を捨ててください。
- 細断屑を処理するときは、細断屑がこぼれないように、ダストボックス⑨を軽く前後左右にゆすってから、ゆっくりと引き出してください。
- 2.ダストボックス⑨にチップ袋⑩をセットしてシュレツダに入れてください。 **P8 「操作の前に」参照**
- 3.扉④を閉めてください。[細断可(a)]が表示されます。

## 注意

- [満杯(h)]が表示された場合は、細断屑を必ず処理してください。無理に細断屑を詰め込みますと、ダストボックス⑨を取り出す際に、細断屑が飛散する原因になることがあります。



# 6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)

このようなときには…	処 置	参照頁
<b>●シュレツダが動かない</b> スタートスイッチ⑭を押しても液晶画面⑯が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コード⑤が差し込まれていますか?…………… 電源コード⑤のプラグをコンセントに差し込んでください。…………… P4</li> <li>・電源スイッチ①が入っていますか?…………… 電源スイッチ①の奥側を押して、電源を入れてください。…………… P5 図3</li> <li>・待機電力ゼロ機能等により、電源が切れていませんか?…………… スタートスイッチ⑭を押してください。…………… P5 図2</li> </ul>	
<b>紙詰り(f)表示になる</b>	投入した紙が多すぎませんか?…………… 『紙詰まり時の処置』に従って紙を取り除き、紙の量を減らして再投入してください。…………… P10	
<b>扉開き(e)表示になる</b>	扉④が開いていませんか?…………… ダストボックス⑨を奥まで入れて、扉④を閉めてください。…………… P4	
<b>満杯(h)表示になる</b>	ダストボックス⑨が満杯ではありませんか?…………… 『細断屑の処理方法』に従って、細断屑の処理をしてください。…………… P10	
<b>放熱中(g)表示になる</b>	30分(50Hz/60Hz)以上連続細断をしたり、…………… 60分程度放置して、モーターを冷やしてください。…………… P9 紙詰まりを連続して起こしていませんか?	
<b>●紙を投入しても、細断を開始しない</b>	オートスタートセンサー②を通過するように…………… オートスタートセンサー②を通過するように紙を投入してください。 紙を投入していますか?…………… または、正転スイッチ⑬を押し続けながら、細断してください。…………… P4	
<b>●細断が終わっても、カッターが停止しない</b>	投入口③に細断紙片が残っていませんか?…………… 投入口③に残っている細断紙片を取り除いてください。…………… P10	



●処置をしても状態が改善されない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

# 7.機械のお手入れ

## カッターのお手入れ

- この機械を末永くご使用いただくために、定期的にカッター一部分に別売りのオイルを注油してください。

### 注油方法

- 1.紙の上にオイルを塗布してください。 **図6 参照**
- 2.その紙を別紙で上下からはさみ、オイルを紙によくなじませてください。
- 3.そのまま紙束をシュレッダで細断してください。

- ☆オイルは別売りの専用オイルをご使用ください。専用オイルの購入は、販売店までお問い合わせください。

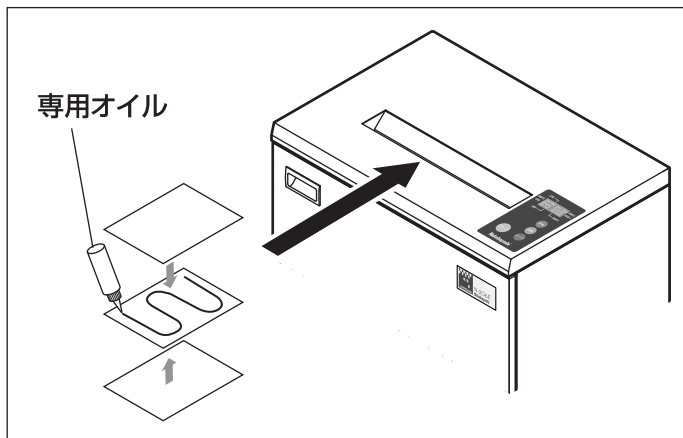


図6 注油方法

## ⚠ 注意

- 注油の際は、オートスタートセンサー②にオイルが直接付着しないように注意をしてください。オイルが付着すると、細断屑や紙粉が付着し、誤作動を起こすおそれがあります。



## シュレッダ本体のお手入れ

- シュレッダ本体に付いた汚れは、柔らかい布などで拭いてください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませ、軽く絞って拭いてください。



- シュレッダ本体を揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。変色や変形するおそれがあります。

## ⚠ 警告

- 機械内部および細断部に絶対に手を入れてはいけません。手を切る、または感電するおそれがあります。



## ⚠ 警告

- 本体内部の掃除を行うときは、電源を切ってから作業をしてください。シュレッダが誤作動した場合、けがをするおそれがあります。



## 満杯センサーの掃除

- 紙粉や細かい細断屑が満杯センサーに付着すると、満杯センサーの感度が落ち、細断屑がダストボックス⑨からあふれる場合があります。定期的に掃除を行ってください。

### 掃除方法

- 1.電源スイッチ①の手前を押して電源を切り、電源コード⑤の電源プラグを抜いてください。
- 2.満杯センサーに付着した紙粉や細かい細断屑を柔らかいハケ等で取り除いてください。 **図7 参照**



- 満杯センサーを揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。故障するおそれがあります。



- 満杯センサーを固い物(金属製工具、ドライバー等)でこすったり叩いたりしないでください。傷が付いたり、誤作動を起こすおそれがあります。

### ⚠ 注意

- 電源を切らずに作業を行うと、シュレツダが作動した場合、けがをするおそれがあります。

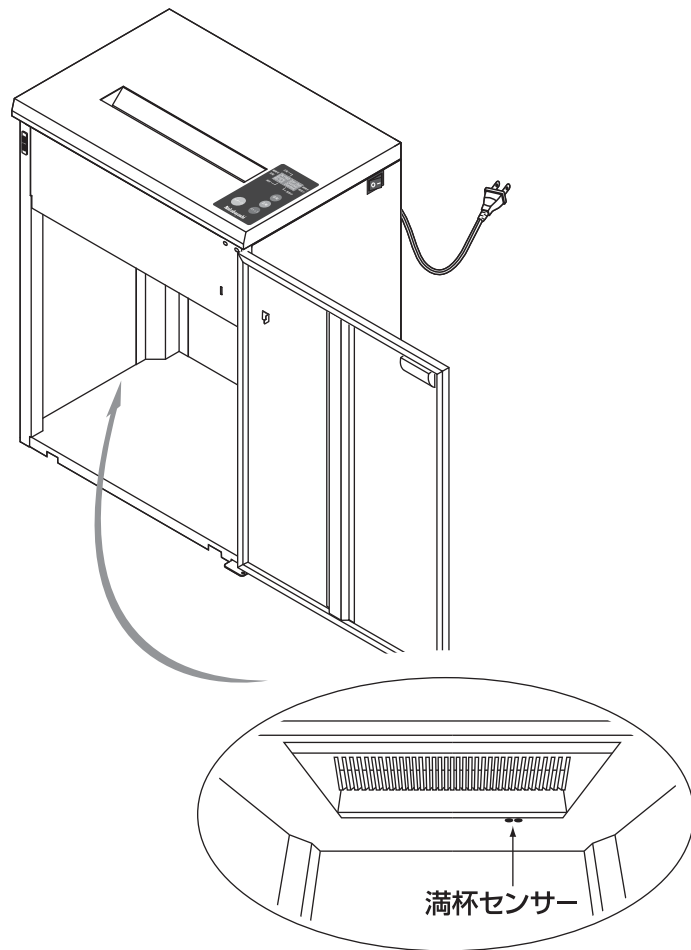


図7 満杯センサーの掃除

# 8.主な仕様

形 式	N-112E
細 断 寸 法	約4.0×40mm
投 入 幅	223mm
定 格 電 圧	100V、50/60Hz
定 格 消 費 電 力	260W(50Hz)/285W(60Hz)
定 格 細 断 枚 数*1	約10枚(50Hz/60Hz)
最 大 細 断 枚 数*1	約18枚(50Hz/60Hz)
外 形 寸 法	400(W)×300(D)×600(H)mm
質 量	約24.5kg
ダストボックス容量	27ℓ
付 属 品	チップ袋

\*1 -A4上質紙64g/㎡タテ方向

注: 細断枚数は紙質、湿度、電圧、投入方法により変化します。

改良のため、予告なく仕様、外観を変更することがあります。

## お客様メモ

後日のために記入しておいてください。消耗品の注文あるいは、サービスを依頼される時、お役に立ちます。

販売店名

電話 (                      -                      -                      )

サービス実施店名

電話 (                      -                      -                      )

ご購入年月日                      年                      月                      日

## ナカバヤシ株式会社

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2-5-1 TEL 03-3558-1228  
大阪本社 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町2-1-3 TEL 072-286-8090  
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2-2-6 TEL 052-661-6151  
福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5-7-11 TEL 092-641-3661  
札幌営業所 TEL 011-531-1006                      横浜営業所 TEL 045-279-7884  
仙台営業所 TEL 022-284-3045                      広島営業所 TEL 082-536-0250  
高松出張所 TEL 087-831-5825



ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。

<https://www.nakabayashi.co.jp/eco>